

こんにちは！

由利本荘市議会です



胸おどる大運動会（5月10日／矢島小学校）

6月定例会

- 4月臨時会・6月定例会トピックス ▶ P 2
- 4月臨時会・6月定例会審議結果 ▶ P 4
- 市長に問う！会派代表質問 ▶ P 6
- ここが聞きたい 一般質問 ▶ P 9
- お知らせします 議会の動き ▶ P15
- 愛LOVEゆりほんじょう ▶ P16



雨で室内の運動会



由利本荘市議会だより

令和7年／2025年8月1日 第81号



4月臨時会・6月定例会のトピックス



4月臨時会が4月25日に開催され、専決処分報告9件、人事案件1件、補正予算2件が承認・同意・可決されました。

6月定例会は5月16日から6月19日までの35日間の会期で開催され、人事案件2件、条例関係10件、補正予算10件、契約関係8件、その他3件の計33件が審議され、すべてが原案のとおり同意・可決されました。

また、請願2件については1件が採択、1件がみなし不採択、陳情2件（継続審査中の1件を含む）については1件が採択、継続審査中の1件は、なお継続審査とされ、委員会発案2件が可決されました。

さらに、議員発案3件も可決されました。

文中の記号は次のとおり所管委員会を表しているものです。

①総 … 総務常任委員会 ②教 … 教育民生常任委員会 ③産 … 産業建設常任委員会

ドローンを活用した（リモートセンシング技術）地籍調査事業

地権者の高齢化・不在村化などにより現状の把握すら困難となっている山村部の先行調査を今年度、万願寺地内において国が直轄で実施します。

①総

問 事業内容・スケジュールは。

答 国土交通省地籍整備室が主体となり、3300万円の事業費として、6月から公図調査、現地調査、測量を行う。11月頃に土地所有者への説明会と関係機関の現地見学会が計画されている。

なお、リモートセンシング技術により調査期間が50%ほど短縮される見通しである。

防災拠点の整備・災害時相互支援体制構築事業支援金

B&G財団からの支援金として、機材配備費として2280万円・研修費として300万円が対象経費の100%支援されます。

①総

問 主な内容としては。

答 機材として、ショベルカー1台・スライドダンプ1台・救助艇1台・高圧洗浄機50台・排送風機50台・防災倉庫建築工事を行う。また、油圧ショベル操作講習30人・チェーンソー活用講習30人などの支援がそれぞれ計画されている。

こども家庭センター開設準備費

556万円の予算を計上し、今年度10月の開設に向けて準備を進めています。

②教

問 こども家庭センターの業務内容とは。

答 保健センターの1階に開設する。「保育所・認定こども園などに関する業務」「児童手当・児童扶養手当・放課後児童クラブなどに関する業務」「母子保健に関する業務」「相談支援に関する業務」について対応する、子育てについてのワンストップ型の窓口となる。



本荘保健センター

トラック事業者補助事業

燃料価格の高騰に対し、燃料費の一部を補助するものです。

③産

問 補助の内容は。

答 経済活動の重要な役割を担うトラック運送業者の事業を継続するための支援を行う。交付額は普通貨物自動車1台につき1万5千円、軽貨物自動車1台につき4千円を交付する。交付期間は令和7年6月20日から9月30日で、事業費は250万円である。

小中学校GIGA端末更新事業

1211万1千円の一般会計補正により事業を展開します。

教

問 どのような事業内容なのか。

答 現在、小中学校の児童生徒に貸与しているタブレット端末は令和2年度に購入したもの。Windows10サポート終了も鑑み、予備を含め稼働する全4587台のタブレット端末の更新を行う。端末の初期設定の委託料として予算を計上するものである。9月末までに新機種の配備を予定している。

AIオンデマンド交通導入のための実証実験

路線バスの運転士不足で路線廃止や大幅な減便がされており、区域型運行による課題解決のため、AIオンデマンド交通の導入を実証実験します。

総

問 内容としては。

答 循環バス・市内線エリア包括で、より多くの市民が自由にバスルート以外でも移動可能になる。現在の運行検討内容としては、10人乗りワゴン車を活用。

予約方法は専用アプリと電話受付とし、運賃は300円から400円。運行時間は9時から18時30分を想定している。

今年度のスケジュールは、市内エリアと市街地エリアにオンデマンドバス各1台を配備し、運行時期は令和7年12月から令和8年2月、本格運行は令和9年度秋以降を想定している。



予約型乗合いタクシーでより便利に

本荘東小学校学童クラブ開設に伴う費用を補正

一般会計予算および債務負担行為として1億8400万円が補正されます。

教

問 具体的にどのような内容の補正予算となったのか。また、安全面等の対策はどのようなになっているのか。

答 学童クラブの環境整備費として約6000万円、実施設計委託料として176万円が一般会計において補正。また、令和7年度から令和10年度までの運営費として、約1億2200万円が債務負担行為において補正されている。

学童クラブ開設については、請願第1号「本荘東小学校区学童保育施設を小学校敷地内に設置することを由利本荘市に求める請願」が提出されたことを重く受け止め、紹介議員及び請願者から聴き取りを実施し、願意について確認した。審査においては安全面についての質疑が行われ、市当局からは学校から学童施設までの安全確保のための見守りの確保や、年度当初は専門業者による誘導員を設置するなどの対策が提示された。渋滞緩和策については、国道107号への出入り口部分の拡幅を県と協議して進めることや、施設前横断歩道への押しボタン式信号機の設置やナイス丁字路の信号機を押しボタン式から時差式への変更を関係機関に要望していることなどの説明があった。

委員会では

審査及びまとめにおいて、委員からは「今後も安全対策等の改善に努めるとともに、その内容については速やかに関係者へ周知すること」「実際に小学校や保育園などに出向いて説明会を開催するなど、より直接的な周知の工夫を図ること」などの意見が出され、今後の安全面の一層の充実や丁寧な説明について、市当局の対応を求めている。

由利地域のカントリーエレベーターの復旧状況

今年の秋作業までには稼働できる見込みです。

問 進捗状況は。

産

答 昨年の豪雨災害で被災したが、その後工事は順調で、今年の秋作業には稼働できる見込みである。なお、復旧は8月29日を予定している。

地域みらい遊学推進事業

島根県海士町^{あま ちよう}の島留学を基に展開している「地域みらい留学」が矢島高校で計画されています。

問 計画の内容は。 (総)

答 県外生徒（令和8年入学者を目指す）を対象とし、都市部で生まれ育った生徒に「第二のふるさと」と感じてもらい、将来的には本市への移住や地域の応援団になってもらえることを期待する。住まいは下宿を2軒（一般住宅2人、民宿1人）予定している。

地域観光魅力向上事業

石脇地域の発酵文化と矢島地域の酒蔵を紹介し、観光誘客につなげます。 (産)

問 事業の内容は。

答 石脇地域の発酵文化（酒蔵や味噌・醤油など）の紹介や矢島地域の酒蔵など江戸三藩が織りなす歴史や文化を由利高原鉄道がむすぶ。酒粕や塩麴を取り入れた特別ランチや地元の日本酒、鳥海山の絶景を仰ぎながらローカルトレインの旅を堪能していただく。

由利本荘市議会議員政治倫理条例 議員の就業等の公表

由利本荘市議会議員政治倫理条例に基づき、議員から就業報告書の提出がありましたので、同条例の規定により公表します。

議席番号	氏名(地域)	職業	本人が実質的に経営に携わっている企業【役職名】
2	栗野希穂(本荘)	無職	—
3	橋島達也(本荘)	会社役員	橋島企画合同会社【代表社員】／一般社団法人由利本荘青年会議所【直前理事長】／由利本荘商工会青年部【副部長】

4月臨時会

人事案件

- 副市長の選任（任期：4年）
佐々木 つかさ 氏（再任）本荘地域裏尾崎町

同意

一般会計補正予算（主なもの）

- 道の駅施設等運営事業（黄桜温泉「湯楽里」）
2940万2千円
- 学校維持補修事業（本荘南中学校の空調設備更新修繕）
1100万円

可決

6月定例会

人事案件

- 副市長の選任（任期：4年）
三 森 隆 氏（再任）鳥海地域伏見
- 教育委員会委員（任期：4年）
佐 藤 道 昭 氏（再任）本荘地域花畑町一丁目

同意

条例関係（主なもの）

- 市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

可決

契約関係（主なもの）

- ◆6災286号1級市道袖山線
道路災害復旧工事請負契約の締結について
契約金額：1億6060万円
契約の相手方：山科建設・三浦土木特定建設工事共同企業体
- ◆市道薬師堂25号線他道路改良工事請負契約の締結について
契約金額：2億9370万円
契約の相手方：村岡建設工業株式会社
- ◆市立本荘東小学校外構整備工事請負契約の締結について
契約金額：3億3770万円
契約の相手方：長田建設株式会社
- ◆市立本荘東小学校グラウンド整備工事請負契約の締結について
契約金額：2億5410万円
契約金額：香楽園・菊地・エコシビル特定建設工事共同企業体

可決

請願・陳情結果

採 択

- 請願第2号
地方財政の充実・強化を国に求める意見書提出についての請願
連合秋田本荘地域協議会 議長 清野英之
紹介議員 栗野希穂
- 陳情第4号
豊かな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引上げを図るための2026年度政府予算に係る意見書提出についての陳情
秋田県教職員組合 執行委員長 小林久美子

継続審査

- 陳情第1号（継続審査中）
選択的夫婦別姓制度の導入を国に求める意見書提出についての陳情
秋田弁護士会 会長 石田英憲

みなし不採択

- 請願第1号
本荘東小学校学区学童保育施設を小学校敷地内へ設置することを由利本荘市に求める請願
本荘東小学校学童保育施設を案ずる保護者の会
代表 加藤 明
紹介議員 大友孝徳 阿部十全 松本学
橋島達也 栗野希穂
(この請願については議案第94号一般会計補正予算(第3号)のうち本荘東小学校学区放課後児童対策事業費と密接に関連しているため、議案第94号の可決により、みなし不採択となりました。)

委員会発案

可決

- 委員会発案第1号
地方財政の充実・強化を国に求める意見書の提出について

意見書提出

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣
総務大臣 財務大臣 厚生労働大臣
国土交通大臣 デジタル大臣
内閣府特命担当大臣（こども政策 少子化対策
若者活躍 男女共同参画 共生・共助）

- 委員会発案第2号
豊かな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げを国に求める意見書の提出について

意見書提出

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣
総務大臣 財務大臣 文部科学大臣

議員発案（主なもの）

可決

- 議員発案4号
市長の専決処分事項の指定について

修正動議

否決

- 議案第94号一般会計補正予算（第3号）
のうち、本荘東小学校学区放課後児童対策事業費に関する補正予算案に対して、関係する歳入歳出予算を削除する修正動議が2人の議員から提出されました。修正案に対しての質疑の後に、賛成の立場から2人の議員が、反対の立場からも2人の議員が討論を行い、採決では、賛成5人、反対16人で否決。その後、原案の採決が行われ、賛成16人、反対5人で可決されました。

議案表決結果一覧表

○：賛成 ×：反対

案件名	会派・議員名	高 志 会											サキホコレ		市民の窓口		共産党	公明党	立民党	無所属		表決数		議決結果		
		高橋 信雄	高橋 和子	佐藤 義之	市川 貴子	堀井新太郎	三浦 秀雄	佐藤 健司	小松 浩一	奥谷 起馬	吉田 朋子	伊藤 順男	渡部 聖一	長沼 久利	三浦 晃	正木 修一	大友 孝徳	松本 学	佐々木隆一	佐藤 正人	栗野 希穂	阿部 十全	橋島 達也		賛 成	反 対
修正動議 議案94号一般会計補正予算(第3号)修正案		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	－	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	5	16	否 決
議案94号一般会計補正予算(第3号)原案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	16	5	可 決
陳情第1号(継続審査中)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	16	3	継続審査

※修正動議：議案94号一般会計補正予算（第3号）のうち、放課後児童対策事業費を削除する修正案
※議案94号一般会計補正予算（第3号）：物価高騰対策、災害情報伝達装置管理事業関連予算ほか
※陳情第1号：継続審査中の「選択的夫婦別姓制度の導入を国に求める意見書提出についての陳情」について、なお継続審査とするかの採決
※長沼久利議長は、採決に加わりません。 ※採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。 ※共産党：日本共産党 立民党：立憲民主党

会派代表質問

高志会



会長 高橋信雄



質問項目

- ① 令和7年度予算について
若者・女性の地域定着回帰と切れ目のない子育て支援について
- ② 大型プロジェクトによる関係人口の拡大と地域経済の活性化について
- ③ 市民ひとりひとりが、住み慣れた地域で心豊かに安全安心に暮らせるまちづくり
- ④ 教育課題について
- ⑤ 水道事業・下水道事業の更新事業と持続可能性について
- ⑥

令和7年度予算と

財政課題について

問 厳しい財政運営と課題について、どのように運営を図っていくか。

答 年々厳しさを増す財政運営。財政調整基金は30億円ほどは確保したい。市債残高の増加は合併特例債の残高が大きく、学校建設の大型事業や災害復旧も大きく影響している。人口減少と財政規模の縮小に見合った組織のスリム化、行財政改革を加速させながら市民生活に必要な行政サービスに努めていく。

今年のコメの生産は

問 農業対策について。今年の主食用米の作付けと特産である酒米などの確保について対策は

答 生産の目安は3%増の5391ヘクタールとした。基本的には「確実な需要に基づいた生産を行う」。国の動向を注視し、必要な支援を講じていく。酒米に

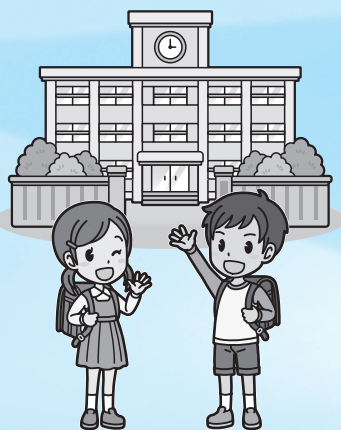
についても県内関係市町村と歩調を合わせて要望していく。

統合小の

スムーズな準備を

問 統合小学校の準備について、備品の準備と閉校の進め方は。

答 基本的には各学校で使用する。引越越しによる負担軽減も図る。タブレットは今年度夏に機器の更新を行う。地域のシンボルとして長年愛されてきた校舎の姿、授業や行事の様子なども映像として記録・保存も視野に協議し適切に対応していく。



老朽管の更新計画は

問 水道事業・下水道事業の既存管更新の計画と長寿命化についてどのように進められるか。

答 水道管については耐用年数である40年を経過したものが老朽管とされ、本市水道管の総延長1230キロメートルのうち、老朽管は246キロメートルで老朽化率は20.0%。更新にあたっては重要施設や重要な送水管などを優先し、可能な限り道路改良工事などの同時施工を図り費用縮減に努める。下水道管は耐用年数が50年とされており市の公共下水道は供用開始から34年で現時点で老朽管はない。

既存下水道管のうち、700ミリメートルの中口径から本市の最大口径で1000ミリメートルの管路、約1.8キロメートルについて、マンホールから目視による調査を行ったところ、管路内部に砂利や砂などの堆積物はなく、流況にも問題がないことを確認した。

施政方針・新年度予算について市長に問う！

サキホコレ



副会長兼幹事長 正木修一

質問項目

- ① 財政状況について
- ② 若者・女性の地域定着回帰について
- ③ 大規模プロジェクトによる地域の活性化について
- ④ 農業施策について
- ⑤ 地域みらい遊学について
- ⑥ ふるさと納税について
- ⑦ 市道の維持管理について
- ⑧ 火災発生時などの被災者サポートについて
- ⑨ デジタル教科書導入について
- ⑩ 学校給食高騰分補助と無償化について

財政状況は

問

昨年の豪雨災害など、復旧対応に財政調整基金も有効に活用され、令和6年度末の残額は20億円程となった。推計値では、年々基金の減少を見込んでおり、財政運営は厳しさを増していく。今後の取り組みは。

答

財政調整基金は、災害など不測の事態や年度間の財源不足に備えている。

本市においては、30億円を目安に確保してきた。今後は行政サービスの維持に努めながら、行政コストの検証を加速し、徹底した歳出削減を進め、持続可能な財政構造の確立に努めていく。

問

災害復旧費など市債が増え、実質公債費比率の推計値が年々上昇し、令和11年度には15.9%と見込まれている。行財政改革で改善されていくのか。

答

実質公債費比率は、財政状況の健全度をみる指標のひとつである。健全な財政運営の確

保のためには、行財政改革の徹底が必要不可欠と考えている。

市債の発行の抑制による実質公債費比率の低下を図り、行政改革に取り組み財政の健全化に努めていく。

農業施策は

問

今年度、豪雨災害により作付けできなかった面積と、市単独災害復旧事業が有効に活用されているのか伺う。

答

昨年の豪雨災害により、144戸83ヘクタールが作付けできない状況となっている。市単独災害復旧事業には、816件の申請をいただき、そのうち660件が工事完了している。農家自身が自力で復旧された農地も相当数あるものと認識している。

被災農家への対応として、市の単独災害復旧事業については、今年度も活用できるよう支援を継続するとともに、さまざまな相談に対応しながら、営農再開が早期に図られるよう取り組んでいく。

地域みらい遊学

問

日本各地の公立高校の中から、都道府県の枠を超えて、自分の興味、関心のある高校を選択し、3年間を過ごす国内進学プログラムに、来年度より矢島高校が参加するが詳細を伺う。

答

地域の方々との交流を通して、学びだけでなく余暇活動も幅広く体験していただきたいとの思いを込めて「遊学」とした。県外から一人でも多く入学いただけるよう、高校、地域と連携・協働のもと、矢島地域の特色を活かし取り組んでいく。



会派代表質問

施政方針・新年度予算について

市長に問う！

市民の窓口



幹事長 松本学

質問項目

- ① 市長就任1期目を終え、2期目を迎えるにあたって
- ② 令和7年度施政方針について
- ③ 令和7年度教育方針について

市長就任1期目を終え、2期目を迎えるにあたって

問

市長自身が描く由利本荘市の未来のあるべき姿と、そこに向かうべき施策。その施策がどのように市民の福祉向上、これからやってくる時代への対応策となるのか。

答

就任以来、「人口減少に歯止めをかける」ことを最重要課題とし、特に人口減少への対応と外貨獲得に力を入れた。また、地域経済の活性化を図る必要があると考え、6つの重点施策を策定しこれからの在るべき姿を示した。人口が減少する中にあっても、市民一人一人が、心豊かに安全・安心に暮らす事ができる持続性のある町の実現に向け、着実に歩みを進めていく。

市民一人一人が、

住み慣れた地域で

心豊かに安全安心に

暮らせるまちづくり

問

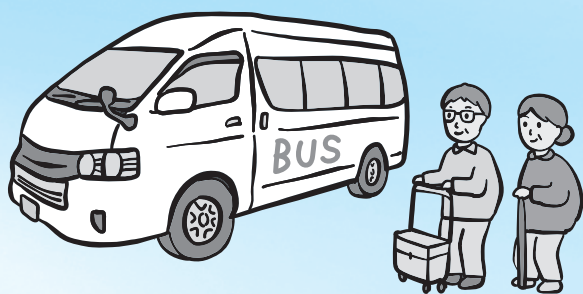
それぞれの地域の特徴を最大限活かし、そこに住む地域住民が協力して暮らしを守り、これまでの歴史、文化の継承に加え、新たな価値観を持つて豊かさを育み続ける事が大切である。

市民一人一人が、住み慣れた地域で心豊かに安全安心に暮らせるまちづくりの観点から、地域公共

交通の整備の方針、将来への見通しは。

答

市民一人一人が、住み慣れた地域で豊かに安全安心に暮らせるよう、コミュニティ交通を維持するとともに、地域の互助による「乗り「逢い」交通事業」の導入を支援するなど、各種施策を総合的に展開し、より素晴らしい由利本荘市を目指す。



生涯学習・社会教育の推進

問

市政が生涯学習、社会教育を推進する事は地域社会の発展や、市民の幸福度を高めるのに非常に有効とされている。

生涯学習、社会教育の推進について、取り組みの実績、地域への影響、効果は。

答

教育施策や市政への理解を深めていただく事を目的に実施する「まちづくり宅配講座」は、昨年度の年間申込数97件、延べ2181人の方に参加いただいた。また、「地域学校協働活動」は、地域の大人と子どもが共に学び地域の良さを再確認できるものである。学校や地域、家庭も一体となつて、学び合うことにより、地域社会を豊かにするものと考えている。

一般質問

一般質問とは、議員が行う市政全般についての質問です。すべての質問項目は次のとおりです。(内容を掲載している項目番号には、○をつけています。)

9P 高橋和子 (高志会)

- ① 市道倉ノ下線及び市道手代線の付け替え道路の整備について
- ② 鳥海ダム工事現場と宿舍間の移動等について
- ③ 森林クレジットについて

10P 佐々木隆一 (日本共産党)

1. 暴走と迷走の「トランプ関税」地域経済への影響は
- ② 市職員の動向と異動について
- ③ 米価高騰、安心して増産できる体制作るべき
4. 重点支援交付金の活用を
5. クマ対策に改正鳥獣保護法成立、実際の運用は
6. 「建築基準法の改正」と「省エネ基準」への適合義務化による業者への影響は

10P 大友孝徳 (市民の窓口)

- ① 本荘東小学校区学童保育施設に関する教育委員会の対応について
- ② こども未来課の初動について
- ③ 説明会の遅延について
4. 訴訟リスクについて
5. 新築する場合の工期について
6. 国・県との連携について

11P 栗野希穂 (立憲民主党)

- ① 学童クラブへ通うルートの安全対策について
- ② 学童クラブ設置に対する市民の声・署名について
- ③ 市民交流学習センターの既存利用者への配慮について
- ④ 今後の学童クラブ運営の在り方について

11P 橋島達也 (無所属)

- ① 本荘東小学校区の学童保育について
- ② 洋上風力について
3. 由利本荘市誕生20周年事業について

12P 佐藤義之 (高志会)

- ① 「地域の希望、秋田が全国最下位」の調査結果について
2. 成功例の自治体を参考に人口減少対策について
3. 若い人たちが女性の意識をとらえた人口減少対策を
4. ESG債を発行しての資金調達について
- ⑤ 所信表明の「地域活性化」にある「鳥海山」をカラーコンテンツに位置づけた観光振興策について

12P 小松浩一 (高志会)

- ① 本市における地域コミュニティの維持及び形成について
- ② 懸案事項等に対する市当局の対応について
- ③ 特別な支援を要する児童の実態把握について
4. 幼保小の連携について

13P 阿部十全 (無所属)

- ① 災害対策について
- ② 本荘東小学校区の放課後児童クラブ運営について

13P 佐藤正人 (公明党)

- ① 住民自治と協働のまちづくりに向けて
2. 骨髄移植・末梢血幹細胞移植の推進は
3. R Sウイルス感染症対策は
4. 授乳室に「搾乳できます」の明示を
5. 由利高原鉄道の観光客の利用促進を
- ⑥ 高校・大学向け移動期日前投票所の開設は

14P 泉谷昶馬 (高志会)

- ① 公共施設等の管理、運営の方針について
2. 由利橋について
3. 放課後児童クラブ(学童クラブ)について
4. 組織のあり方について

6月定例会では、10人の議員が質問に立ちました。YouTube配信をQRコードよりご覧になれます。



新たな財源確保と地域経済の活性化を目指し、取り組みを推進する。またクレジットの購入を通じた企業団体と連携し関係人口の創出や拡大にも取り組む。

個人所有林は森林組合などと連携し取り組めるよう図る。

市所有林の「森林経営活動」でのプロジェクト登録を検討し発効されたクレジットを販売し財源は整備にあてる。

CO2排出削減に貢献、温暖化対策に寄与する制度であり森林管理にかかる経済的負担軽減、財源確保にもつながる。

森林クレジットを活用すべき



高橋和子
(高志会)



鳥海ダム工事現場と
宿舍の移動は

問 本体工事に入り500人以上の方が移動することが予想される。現在も通行量が増し住民への影響が出ている。

国工事関係者、市が連携を図り交通安全確保に努めるべき。

答 現在は、乗り合いで現場に移動している。今後は作業員が多くなるので、マイクロバスでの移動を考えている。交通安全の確保は鳥海ダム工事事務所、工事関係者や地域住民と連携し、対策を協議する。

鳥海山観光の
充実、進展を

問 峰越手代奥山林道を拡幅整備すべき。

答 森林管理署によると、現段階で拡幅計画はない。仮に拡幅が促進されれば観光誘客のメリットがあり望む声もある。

酒田市とは早期整備促進を図るため「整備促進連絡会議」を重ねている。



佐々木隆一
(日本共産党)



市職員の動向と異動について

問 異動は職員の能力や経験を生かし組織の効率的な運営を図るために行われる。

近年、異動がひんばんに行われるイメージがある。課長の異動が短期間に行われているようだが過去5年間で1年から2年で異動になったのは何人か。その理由はいかがか。

答 異動は重点プロジェクトへの対応や各課の業務量などを踏まえながら本人の希望などを含め適切に行っている。

課長級の異動は令和7年度課長級71人のうち5年間で1年から2年で異動した職員数は30人で各年度の人事異動方針にのっとり配置した結果によるものである。

米価高騰、安心して増産できる体制作るべき

問 政府が備蓄米の放出に踏み切って以降も米価が高騰したままである。

事態を打開し全ての国民が安心して米を食べられるようにすることは国の重大な責任である。

今年産米の作柄次第では輸入米頼みになる事態も想定される。よって増産を奨励すべきである。転作率は何パーセントか。非主食用米は何パーセントか。主要な転作物は何か。

答 生産の目安は5391ヘクタール、市の水田面積の57・5パーセントである。

水稲以外の作付けは3190ヘクタールで34パーセント。加工用米や飼料米が1014ヘクタールで10・8パーセント。水稲以外は飼料用作物、そば、大豆などである。国に対しては輸入米に過度に依存することなく安定的に構築されるよう関係機関に要望していく。



本荘東小学校区 学童保育施設について



大友孝徳
(市民の窓口)



問 教育委員会は令和3年より校舎建設に向けた基本設計に着手しているが、この段階で学童保育施設は全く考慮されていなかったのか。

答 この時点では学校建設にかかる大枠を定めたもので、学校教育以外の用途については考慮していない。

こども未来課の初動は

問 市民交流学習センター改修案を最終的に説明し決定した協議には、誰が出席しどのような議論がなされたのか。

答 令和5年10月に健康福祉部から両副市長に検討結果を複数回報告し検討した。

説明会の遅延について

問 こども未来課は教育民生常任委員会に対し令和6年3月議会に報告し、6月議会で改修実施設計委託料を上程した際に、速やかな説明会の開催を約束しているが、それが11月28日まで遅延した理由は何か。

答 保護者などに理解していただくためには詳細な図面が必要と判断し、10月に整ってから説明会を開催した。



本荘東小学校から約1km離れた
市民交流学習センター

本荘東小学校予定地から見た市民交流学習センター



栗野希穂
(立憲民主党)



学童クラブへ通う

ルートの安全対策は

問 「子ども110番の家」の再整備とその周知徹底や「学童注意」「児童多し注意」などの注意喚起表示や看板の整備など、より充実した安全対策をどのように進めていくのか。

答 教育委員会、学校、道路管理者、警察などの関係機関と連携し、危険箇所の改善と把握に努めていく。

学童クラブ設置に対する 市民の声と署名について

問 2000筆を超える署名の提出をどのように受け止めているのか。

答 さまざまな意見があることは承知している。意見や懸念をしっかりと受け止めつつ、開設に向け、保護者や児童、施設利用者が安心して利用できるような

全対策などに十分配慮しながら整備を進めていく。

既存利用者への配慮は

問 既存利用者の声にも耳を傾け、共存できる改修をしていく姿勢はあるのか。

答 市民交流学習センターの改修にあたり、既存利用者に対し、改修計画の詳細を早期に知らせ、安心して活動を継続していただけるように努める。市民にとって、魅力ある学びや交流の場として、より良い施設となるよう尽力する。



市民交流学習センター正面

今後の学童クラブ運営の 在り方は

問 今後、利用する保護者や地域の声を丁寧に受け止めながら、施設の運営に反映していくという姿勢はあるのか。

答 運営後にアンケートなどを行うことによりニーズを受け止め、より良い学童クラブ運営と施設利用者の利便性の向上に繋がるよう柔軟な対応を進めていく。



橋島達也
(無所属)



本荘東小学校学童クラブ 問題の近隣住民や 保護者への対応は

問 2000人を超える署名を市はどのように受け止め、今後の計画に反映させていくのか。

答 意見や懸念をしっかりと受け止めつつ、令和8年4月の学童クラブ開設に向け、皆様に安心してご利用いただけるよう安全対策に配慮し整備を進めていく。



学童クラブが入る市民交流学習センター

問 今後、説明会や安全対策に関する協議会の実施予定、代替地の再検討の可能性は。

答 今後、説明会開催の予定はないが、本荘東小学校学童クラブに関する情報を市ホームページにて随時発信していく。また、学童保育施設の新設は総合的に考慮すると困難である。

洋上風力発電の建設は

問 本市沖洋上風力発電事業者が事業性の再評価を行っているが、その事で計画について変更などはあるのか。

答 再評価の結果が夏頃までに公表される。どのような対応方針が示されるのか、事業者の方針決定を注視している状況である。

由利本荘市誕生20周年 事業の予算

問 全体予算2600万円、どのくらいの経済効果を見込んでいるのか。

答 記念事業などに伴う経済波及効果として、一定の条件を前提に試算すると、全体で約3200万円の波及効果を見込んでいる。



佐藤義之
(高志会)



地域の希望、秋田が
全国最下位の調査結果から

問 自分たちが住んでいる、住み慣れた地域で、将来へ明るい希望を持てる社会構築をどう考えるか。

答 市民が将来に希望が持てない状況に陥ることは、市長として不本意であり、たとえば人口減少が進んだとしても、市が持続的な発展をしていけるような、市民の希望につながる施策の立案が強く求められることに、改めて思いを巡らせている。

その足がかりとして、今年度、デジタル庁が推奨している「地域幸福度ウェルビーイング指標」を活用したアンケート調査を実施し、今後の施策立案に生かし、希望ある地域社会の実現に繋げていく。

「鳥海山」を
キラコンテンツに
位置づけた観光振興策は

問 各自治体間の観光振興における厳しい競争を勝ち抜くためのPRの取り組みと、交流人口・関係人口を増やすための施策は。

答 「ここ」でしか見られない景色や「ここ」でしか味わえない体験」などの特別感を打ち出したPRを展開していくことが、観光客を呼び込み、ひいては交流人口や関係人口の増加に繋がる施策になり得ると考える。



花立高原コテージ

総合支所だより・公民館
だよりの定期発行中止

問 地域の方々に説明もないまま、どのような経緯で定期発行中止に至ったのか。

答 市広報や他の配布物との内容の重複があるなど情報伝達手段としての形骸化に加え、発行業務のための残業などの状況から定期発行の中止とした。令和7年度以降は、必要なタイミングで独自にお知らせなどを発行することとしている。



小松浩一
(高志会)



懸案事項などへの
市当局の対応の在り方

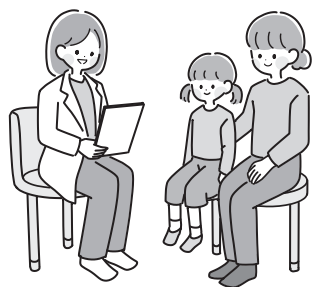
問 市民生活における重要な事案について、関係する部署との連携がとれるような組織のシステムをどのように構築していくのか。

答 いわゆるトップダウンによる指示・命令を待つことなく、自発的に互いに連携し協力し合って事業を進めていくことができる組織が理想である。人材育成はもとより、組織力向上のための研修などを行い、機能的に対応できる高い総合力をもつ組織づくりに努めていく。

特別な支援を要する
児童の実態把握の充実

問 国の五歳児健診への支援強化策を受け、さらなる実態把握の充実が図られるものか。

答 こども家庭庁が補助対象事業とする医師の診断を含んだ5歳児健診については、医師会と協議し、将来的に取り組んでいくよう健診体制について研究していく。



問 国道108号へ通じる市道が来年開通することで、交通量が変わることも予想される。供用後の周辺の交通状況を注視しつつ、必要な対策を講じる。

答 国道107号渋滞が予想される。どのような影響があると考えているか。

問 保護者が労働などにより家にいない時間、こどもの健全な育成を図る事業であり、現計画の場所は、学校敷地内設置よりは事業目的に添った場所とはいえないのではないか。

答 保護者の利便性に違いが生じることはある程度避けがたい。学童クラブは「預かる場」ではなく、笑顔で過ごすことができる環境づくりに取り組み、健全な育成に努めることがその目的に沿うものと考えている。

放課後児童クラブ運営について



阿部十全
(無所属)



災害対策は

問 ハザードマップに示された危険箇所の確認、住民の住宅調査をする考えはないか。

答 「我が家の防災マニュアル」の活用をお願いする。ご家族・地域でしっかりと危険な場所などを確認し、学校や職場を想定しながら、互いの連絡方法や避難先、避難ルートなど日頃より話し合っていたきたい。

問 自主防災組織の強化と若返り化のため、市が関与する考えはないか。

答 秋田県防災士養成事業を活用し、防災士の資格取得に取り組んでいる、現在6名が取得自主防災組織の地域リーダーとして期待している。



我が家の防災バック

住民自治と協働の

まちづくりを



佐藤正人
(公明党)



問 行政事業の最終目的は住民の福祉向上だと思う。住民自治と協働のまちづくりをめざすべきではないか。また、市民が由利本荘市に暮らし、一体感となるような市民スローガンがあればいいと感じるが。

答 行政と市民がお互いの立場を理解しながら、尊重しあえるような信頼関係を築くことが、大変重要であり、市政運営の質的な向上を図るためにも不可欠であると考えている。策定中の次期総合計画においては、市民に身近で、目指すところを分かりやすく示すとともに、スローガンにもなり得るサブタイトルを検討しながら、一体感の醸成にも努めていく。

高校・大学向け移動期日前投票所の開設は

問 若年層の政治参加が増え、喜ばしいことであるが、投票率の低いことが残念。移動期日前投票所を開設したらどうか。

答 4月6日県知事選挙の十代の投票率は32・00%で、市全体の投票率58・32%と比較すると、その差は26・32ポイントであり、較差は大きい。高校・大学への移動期日前投票所は、投票しやすい環境を整えるだけでなく、主権者教育にも役立つものと考えており、投票への参加、政治への参加意識の向上につながるものであることから、7月の参議院議員通常選挙において実施することを計画している。



移動期日前投票所の移動市役所



泉谷 赴馬
(高志会)



文化交流館カダーレの 修繕は

問 雨漏りや空調の不具合などが生じており、市民や利用者に迷惑がかかっている。どのように修繕を計画していくのか。

答 今後増加する懸念がある施設の不具合に備え、保守業者などに対し、近々に本格的な修繕が必要だと見込まれる箇所について、開き取りを行っている。定期的な更新が必要な設備と併せ、指定管理者と相談のうえ、計画的に修繕を進めていく。突発的に生じた不具合についても緊急度を見極めながら適切に対応していく。

東由利「湯楽里」など について

問 地元市民は温泉再開を喜ぶ一方、法要や同期会、謝恩



天井が高く、空間が広い湯楽里

会や自治会などでの飲食の場がなくなり、不便だと声が上がっている。二度の指定管理者の公募に対し、一社からも応募が無かった要因をどう捉え、課題に対応するのか。

答 人件費やエネルギー価格などの維持管理コストの上昇による課題が主な要因であると受け止めている。令和8年度以降は指定管理者による運営を目指し、本年8月から公募を実施したいと考えている。

施設面の課題への対応については、施設の構造的な特性を踏まえ、物理的に空間を縮小する方法や、浴室内の温度低下を防ぐ方策について調査・研究を進め、エネルギー使用状況の見える化の推進を図り、施設の機能や利便性を損なうことなく、より効率的な運営に努める。

永年勤続議員表彰

第101回全国市議会議長会定期総会が5月20日に東京都内で開催され、席上、本市の議員3人が永年にわたる市議会議員としての功績が認められ表彰されました。

●議員在職20年以上

高橋 和子 議員

●議員在職15年以上

三浦 晃 議員
渡部 聖一 議員



渡部議員、高橋議員、三浦議員

議会を見よう！知ろう！

▶ 次の定例会は9/2～9/24 ◀

本会議でどんなことがどのように話し合われているのか、様々な手段で知ることができます。皆さんの暮らしに直結していることばかりです。

ぜひご覧ください。

★議会を傍聴！ライブで！

★会議録で読む

★ケーブルテレビで生中継

★由利本荘市議会YouTubeチャンネルでライブ配信

由利本荘市議会YouTube
チャンネルはこちら→



市議会カレンダー

● 9月定例会の予定 ●

日	月	火	水	木	金	土
8/17	18	19	20	21	22	23
24						29 30
31	9/1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	10/1	2	3	4



8月22日(金)
正午までに受理する
請願・陳情を審議
する予定です

議会の予定は変更になる場合があります。
詳細は議会事務局までお問い合わせください。(TEL24-6386)

議会日誌

(4/1～6/30)

4月	2日	議会報編集特別委員会
	10日	教育民生常任委員会協議会 会派代表者会議
	11日	議会報編集特別委員会
	18日	議会運営委員会
	25日	臨時会
5月	9日	議会運営委員会
	14日	教育民生常任委員会協議会
	16日	本会議(開会) 議会全員協議会
6月	5日	本会議(会派代表質問) 会派代表者会議
	6日	本会議(一般質問)～10日
	10日	議会全員協議会 会派代表者会議
	11日	議会運営委員会
	19日	委員会(議案審査)～13日 議会運営委員会 本会議(閉会)
	25日	島根県安来市議会行政視察来訪
	27日	議会報編集特別委員会 産業建設常任委員会協議会

議長公務(主なもの)

4月	3日	民生児童委員協議会
	4日	新入社員合同歓迎会 本荘さくらまつりオープニング セレモニー
	17日	地域農業再生協議会総会
	24日	東北市議会議長会定期総会 (秋田市)
	30日	秋田由利牛振興協議会総会



【議長公務】
詳細はこちらから↑

5月	1日	高規格道路本荘大曲道路整備促進期成同盟会(大仙市)
	4日	佐久パルーンフェスティバル・佐久鯉まつり(長野県佐久市)
	12日	由利本荘市文化財保護団体連合会表彰式
	13日	東北日本海沿岸市町村議会協議会役員会・総会(山形県鶴岡市)
	15日	由利本荘市観光協会通常総会
	16日	由利本荘市商工会通常総代会
	19日	国道398号改良整備促進期成同盟会通常総会(湯沢市)
	20日	全国市議会議長会定期総会(東京都)
	26日	由利本荘市スポーツ協会評議員会
	28日	食品衛生協会通常総会
	29日	本荘由利産学振興財団評議員会
	30日	管工事協同組合通常総会 本荘由利森林組合通常総代会

6月	3日	本荘税務署管内青色申告連合会通常総会
	6日	建設業協会通常総会
	8日	鳥海新緑まつり
	14日	鳥海ダム本体工事着工式
	16日	市と市議会との合同要望(宮城県仙台市・東京都)～18日

議長交際費

	4月	5月	6月
慶祝、 協賛など	41,250円 (4件)	143,210円 (16件)	35,760円 (7件)
弔 事	0円 (0件)	50,000円 (2件)	30,000円 (1件)



【議長交際費】
詳細はこちらから↑



西目中学校 3年
ひら さわ るま
平澤 瑠海 さん
(町内名 湯端)



尾崎小学校 6年
わた なべ さあ
渡辺 咲羽 さん
(町内名 東御門町)

私のふるさとの魅力

私 は由利本荘市の豊かな自然が大好きです。特に、西目町の海は夕日がとても綺麗で、海辺を散歩するたびに写真を撮ってしまうほどお気に入りの場所です。春は桜並木、夏は青々とした木々、秋は燃えるような紅葉、冬は煌めく雪景色…と、一年を通して、さまざまな表情が見られるのも大きな魅力です。そうした自然に囲まれていると、少し落ち着いた気分になっても、周りを見渡すだけで心を穏やかにすることができて気持ちに余裕をもてます。由利本荘市には都会にはない静かさと温かさがあり、私はこの町で生まれ育ったことを誇りに思っています。これからも地域のボランティア活動などに取り組み、美しい自然環境を育てることに貢献したいです。

私の体験学習から

私 たちが住む由利本荘市は、自然がいっぱいで、す。鳥海山や子吉川、日本海など、どれをとっても自慢の景色です。

でも、私が一番好きなのは、田園の風景です。昨年、私は学校の体験学習で田植えと稲刈りをしました。お米作りの大変さが少し分かったような気がしました。そして、それまであまり気にしなかった田んぼの景色が違って見えるようになりました。雪どけの土色、田植え後の緑色、稲刈り前の黄金色…、どの季節もとてもきれいで、そこでできるお米は本当においしいと思います。毎年米作りをしてくださっている農家の方々に、ありがとうございます。気持ちを伝えたいです。

私は、おいしい作物がたくさんとれるこの由利本荘市の田園風景を大切にしていきたいです。

まちの声から



由利地域
むら かみ
村上 典夫 さん
(町内名 久保田)

過疎化に拍車か

我が集落は西に子吉川、東にその支流久保田川に挟まれております。過去の被災経験からもつばら子吉川だけに監視の目をむけていましたが、昨年7月の豪雨災害は意表を突かれたように中小河川である久保田川の氾濫に襲われ、5mほどの高低差で分かれていたほぼ半数の低地に位置する家々が被災しました。

後片付けなどの復興には、よく言われる「三助」には本当に助けられました。「自助」だけではできない事に地域住民・親戚・同僚それにボランティアなどの「共助」、また廃棄物処理・一時避難所の斡旋など行政機関の「公助」など本当に感謝したいと思っています。

このように地域との絆があつてこそ生活基盤が成り立ちます。当集落でも今では住民が半減してしまいました。そして今また、被災世帯が櫛の歯が欠けるように一軒また一軒と村を去ってしまいました。一層過疎化に拍車がかかっています。この先地域コミュニティとしての集落はどうなるのか不安は募るばかりです。

編集後記

市長選後、初の定例会となった今議会では、会派代表質問・一般質問に計13人が質問に立ちました。また、平成23年7月の臨時会以降、14年ぶりに原案に対する修正動議が提出され、議場では様々な議論が展開されました。

議会の模様は、ケーブルテレビやYouTubeチャンネルにより、映像でご覧いただくことができます。

一方で議会だよりは、限られた紙面の中で、文字や写真で議会での出来事を的確に要約し、市民の皆様に分かりやすくお届けすることが役割だと考え、今号の編集会議でも、その役割を意識しながら臨みました。

今後、市民の皆様に分かりやすくお届けできるよう、そして、議会に興味を持っていただけるよう引き続き取り組んでまいります。

(泉谷起馬)

議会報編集特別委員会

委員長 佐藤 正人
副委員長 南 貴子
委員 阿部 孝全
佐藤 義徳
泉谷 起馬
佐々木 隆一
三浦 晃

(議席順)